全学連関西通信

2024/10/28

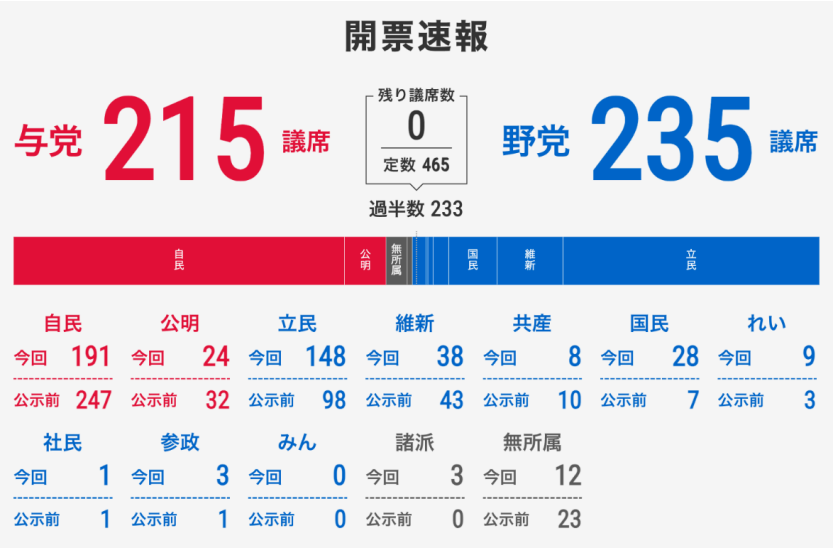
全日本学生自治会総連合(矢嶋委員長)
Mail:mail_cn001@zengakuren.jp
Twitter:@Zengakuren

挙国一致打ち破り11・3日比谷へ！

中国侵略戦争「2027年開戦」阻止！

石破政権が仕掛けた解散・総選挙は、自公合わせても過半数割れ(64議席減)という大惨敗の結果となった。裏金議員に政党助成金2000万円を配っていた問題が取り沙汰されているが、根本的には労働者階級人民の積もりに積もった「このままじゃ生きていけない！」の怒りが自民党を崩壊情勢に追い込んだということだ。

一方で立憲民主(50議席増)・国民民主(19議席増)・れいわ(6議席増)などの躍進が報道されているが、それは2009年政権交代のような熱気を生み出しているわけでは全くない。投票率は前回よりさらに低い53.8%。約半数の人民にとっては今回の総選挙は茶番でしかない。



私たちは選挙の1票で終わる無力な存在ではない。この社会を動かしているのは労働者であり、未来を担うのは学生だ。「戦争を止め、社会を変える力がここにある」…11・3全国労働者総決起集会に集まり、首都を揺るがす6000人の反戦デモで石破政権を打倒しよう！　戦争と虐殺、搾取によってしか生き延びられない資本主義・帝国主義支配を終わらせよう！

・中国侵略戦争に向けた挙国一致体制を打ち破れ

今回、自公で過半数を取れなかったため、野党の協力が不可欠となる。この体制の危機を突破するために、より一層凶暴に中国侵略戦争遂行のための挙国一致体制が推し進められることになる。事実、反自民の「受け皿」となった立憲民主党は「日米同盟を基軸に」と公言する野田を代表に据え、2024年政策集(HP記載)でも中国包囲網の形成(「QUAD（日米豪印）の参加国を増やす」)、陸海空自衛隊の一体的運用、ミサイル能力の向上、自衛隊の継戦能力の強化、装備品の国際共同開発・生産など自民党と全く変わらない安保政策を打ち出している。国民民主党は尚更であり、日共・れいわも日米安保そのものには一切触れない。その一方で沖縄をはじめ日本全土の軍事要塞化が猛然と進められ、今まさに中国を仮想敵国とした日米合同軍事演習「キーンソード25」が4万5000人規模で行われている。

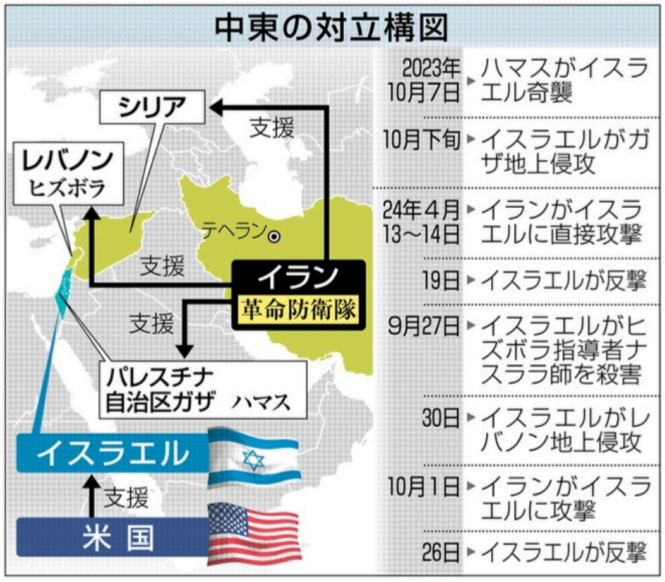
米海軍が9月18日に発表した「航海計画2024」は、「2027年までに(by 2027)」という期限を太字で何度も確認し、中国軍に完全に勝つために必要なあらゆる準備を完了させると宣言している。今回の総選挙は、この「2027年開戦」に向けた戦争準備、挙国一致を作り出す攻撃だった。今こそ中国侵略戦争阻止を真っ向から掲げる反戦闘争に立ちあがろう！

闘争スケジュール

・**11.3全国労働者総決起集会**
11月3日(日)12時 日比谷野外音楽堂

集会特設HP→

・**8.6広島暴処法弾圧**
公判前整理手続き弾劾闘争
10月30日(水)12時　広島地裁前
※関西から参加希望の方はXにDMを



↑10・21国際反戦デー集会
↓堂々とアピールする亀井副委員長

・イスラエルによるイラン攻撃弾劾

10月26日、イスラエル軍がイラン国内への空爆に踏み切った。報道では、弾道ミサイルの製造設備などが破壊されたとされている。これはイランがイスラエルに対して1日に行ったミサイル攻撃の対抗措置としている。だが、そもそもイスラエルこそが歴史的にパレスチナへの侵略・入植を進め、今まさにガザで凄まじい虐殺（直接の死者4万2000人以上、関連死を含めると20万人以上とも言われる！）を行っている張本人だ。イスラエル軍は9月30日にレバノンへの地上侵攻にも踏み切っている。これらの動きは昨年10月7日武装蜂起以来のパレスチナ人民の決起に全世界の人民が連帯してイスラエルを包囲する中で、絶望的な戦線拡大に追い込まれた結果だ。

今回の攻撃に対して、バイデン米大統領はイラン側にのみ「再報復」しないように求めた。侵略者イスラエルの「自衛権」を擁護し、虐殺を全面支援しているのはアメリカであり、日本を含むG7の帝国主義国である。パレスチナ人民と連帯し、帝国主義打倒、何よりも虐殺に加担する自国政府を打倒する闘いに決起しよう！

・京大当局の不当処分を粉砕！

9月26日付で亀井全学連副委員長を含む5名の学生が一昨年「総長室突入」において学生を「扇動した」ことを理由に1～2ヶ月の停学処分が下され、5名は学内への立ち入りを禁じられた。

しかし5名を学内から排除して見せしめにする処分弾圧に対して、全学連は10月1日の開講日以来、被処分者とともに連日のキャンパス展開に立ち、被処分者排除のプラカードとビデオカメラを持って弾圧に来る京大職員を撃退し続けた。その結果、学内から排除亀井副委員長の停学が切れる頃になると、弾圧職員は5分ほど嫌がらせをするだけで撤退するようになり、亀井副委員長を先頭に被処分者が堂々とキャンパスでアピールできる状況を作り出した。闘えば必ず弾圧を粉砕できる！　不当処分によって学生を黙らせ、一方でイスラエルの大学と学術交流し、経団連副委員長を「運営方針会議」に迎えて戦争体制作りに邁進する京大当局・湊総長体制を打倒しよう！

横田を中国侵略戦争の司令部にするな！10・27横田闘争

横田基地の在日米軍司令部は、7月28日の日米「2＋2」を経て戦時の作戦指揮権を持つ「統合軍司令部」に強化されようとしている。今行われている「キーンソード25」はその実践演習だ。これに対して、10月27日反基地デモを叩きつけ、申し入れ行動が闘われた。航空自衛隊への申し入れの後、米軍への申し入れをしようとした参加者に対して、警察が不当にも阻止線を張った。警察自身が「法的根拠はない」と言うふざけきった弾圧に対して、改憲戦争阻止！大行進の仲間はスクラムを組んで激突し、徹底的に怒りの声を叩きつけた。

この日は広島市でも反戦女性集会・デモが行われた。全国であらゆる形で戦争動員や基地建設・強化が進んでいる。ストライキと反戦デモに決起し、体を張って中国侵略戦争を阻止しよう。

警察の阻止線に怒りのシュプレヒコール